

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成 25年 7月30日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区中之島2-3-18		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 朝日新聞社 代表取締役社長 木村 伊量
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO 14001 :2004	
適 用 範 囲	株式会社朝日新聞社 京都工場	
導 入 年 月 日	2005年 12月 13日	
認 証 番 号	E343	
基 本 方 針	新聞の印刷・梱包事業を通じて地球環境との調和、地域社会との共生を目指すために、環境保全に積極的に取り組み、企業市民の一員として循環型社会の推進に寄与する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーや資源（電力、ガス、水道）の削減、廃棄物（事務用紙、刷り損紙、フィルム、バンド）の減量とリサイクルに努める。</li> <li>・環境側面に関連する法律や条例、その他の要求事項を守り、汚染の予防に努める。</li> <li>・環境マネジメントシステムを確立し、事業活動を反映した環境目的・目標を明確にしたうえで、システムや目的・目標を見直ししながら継続的に環境を改善する。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明の間引き消灯。空調機の運転スケジュールの見直し。</li> <li>・事務用紙の両面使用。</li> <li>・廃棄物のリサイクル（梱包用フィルム、バンド）</li> <li>・印刷用インキに、環境対応の大豆インキ（ソイ・インキ）を使用。</li> <li>・地域への貢献として、工場周辺清掃、消防訓練活動への参加、又、工場内の見学、チャレンジ体験学習の受け入れなど。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年度の計画値として、工場環境委員会で次の目標値を定めた。電力5,712,153kw/h、ガス603,596m<sup>3</sup>、水道18,298m<sup>3</sup>、事務用紙80,300枚、印刷損紙率2.50%。計画に対しては、電気、水道、事務用紙が未達となったが、ガス、印刷損紙率では達成した。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当工場に関係する、法律21項、条例9項、自社取り組み4項について、常に遵守しているか監視している。当初計画どおりに目標達成のために取り組んでいる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	当工場に関係する、法律21項、条例9項、自社取り組み4項について、常に遵守しているか監視している。これまで、違反および行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	工場環境委員会で内部環境監査を年2回実施して評価、見直しを実施している。 また、これまでに外部審査機関によるサーベイランス（5回受審）及び、更新審査（2回受審）をうけた。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。